

同窓会報

NO.57
2014.3

発行 — 〒992-0039 山形県米沢市門東町1丁目1番72号 九里学園同窓会 事務局 TEL 0238-22-0091 http://all-kunori.net/
FAX 0238-22-0092



S39.9.30 東京オリンピック 聖火 米沢を走る 米女の走者2人 (詳しくは4P.5P)

楽しい学園
心を一つに

同窓会長 佐藤せつ
(S二十三年卒)

同窓生の皆様におかれましては、ご健壮にてご活躍のこととお慶び申し上げます。午は、負けず嫌いで元気良く駆け巡るとか。今年の干支にあやかって何事もうまくいくようと願っています。

さて、この度のW杯女子スキージャンプ蔵王大会に、同窓生の小浅星子さんが出場され、その活躍には手に汗を握りました。もう少しといふところで惜しい結果になりました。でも、まだまだ出来る意気込みを、笑顔で見せてくれたことが強く印象に残りました。

また、校長先生は先頭に立つて応援されておられ、その姿に頭の下がる思いがしました。同窓生の一員として、感謝の気持ちでいっぱいです。「礼・譲」「協同和楽」のスローガンの下に会員の皆様が心を一つにされ活躍されますことを御祈念申しあげ、御挨拶といたします。

感動 茂三先生の ご参加を得て

実行委員長 佐藤勝子
(S34年卒)

平成二十五年度の同窓会総会は六月二十九日(土)上杉城史苑に於て、八十余名の出席を頂き開催することが出来ました。懇親会の始まる前に、高木郁さん(S三十三年卒)が藍綬褒章を受章され、その栄誉をたたえ同窓会として、花束を贈呈いたしました。また、九里茂三先生、前同窓会会長竹田カツ様に御出席いただきました。お二方の元気なお顔を拝見し、みなさんも、久しぶりにお会いしたので、感激し、一緒に写真撮影しながら和やかな雰囲気に包まれ、有意義な時間を過ごすことができました。

アトラクションでは、九里学園のダンス部の発表後、コージヨンダー(米沢男性合唱団)十七名の皆さんのコーラス、フラダンス、長岡洋子さんの歌謡舞踊等の御披露がありました。最後には、花笠音踊、米沢新調をみんなで踊りながら、別れを惜しみ散会致しました。



学園近況

部活動後援会への参加を期待

学校長 九里廣志

今年も部活動後援会の拡大総会が開催され、部活動の枠を超えて、また年齢差を超えて、九里学園で一緒に活動した者たちが集い、楽しかった、いや辛かったあの頃を思い返し、顧問やコーチ、仲間そして先輩後輩たちとの歓談が行われた。そして現役生たちの活躍の様子の紹介が場を盛り上げ、にぎやかにする。今年もダンス部のパフォーマンス、陸上競技部の全国大会での活躍表彰などが、会に花を添えてくれた。毎年行われるこの会に、どうぞ多くの先輩たちに参加していただきたいと思っている。また、この後援会は、現役生の応援団である。インターハイ常連の陸上部や、昨年春の大会で県二位と実力をつけてきた野球部などの後押しや、結果はまだ見えていないが、もう少しの応援があれば…と言う状態の部活の底上げなどに、その部活の関係者ではなくとも、皆さんたちに大いに加わっていただきたいのだ。自分の頑張った学生時代を、もう一度思い起こしてみませんか?会費での応援も含め、参加をお待ちしています。





瑞宝单光章 受章

佐藤せつさん (S23年卒)

米沢中央保育園園長として、昭和六十一年より勤務し、保育士としては五十年以上のベテランである佐藤せつさんが、今回「瑞宝单光章」を受章されました。

子どもたちの目線に立ち、成長を支えてきたキャリアとともに園長として保育士の育成や、保育園で働く調理士や栄養士さんとの、連携を常に大事にされているそうです。

卒園生が進学を報告にきてくればり、その子どもが入園したりする事もあり、人の絆を大事になさっている事が伝わってきます。

受章おめでとうございます。

ちなみにお忙しい中、平成十七年度から本同窓会の会長としてご活躍中です。

(S五十二年卒 高橋有子記)



加地さんがインターハイ出場

顧問 岩谷義彦

水泳部は、かつての米沢女子高校水泳部から活動が途絶えて久しいと伺っていますが、現在は少数精鋭で活動しています。生徒会の組織上、正式な部活動ではなく、当初は本校に入学しても水泳を続けたいという一人の生徒をサポートする形で始まったものでした。しかし、生徒・保護者の熱心な活動により徐々に部員も増え、県内でも九里学園水泳部の認知度が上がってきてているように感じています。昨年は三年生の加地明日香さんが入学時からの目標であったインターハイ出場を果たすことが出来ました。今年度は念願であつたりレーにも出場し、チームとしての結束を高めつつ、お互いが切磋琢磨できる環境を作り、頑張っていきたいと思います。

水泳部

おめでとうございます

米沢市民生委員児童委員、松川地区会長の高木郁さん、この度は「藍綬褒章」受章おめでとうございます。二十三年にわたる地域福祉活動の功績が高く評価されたそうですが、民生委員の活動は本当に大変です。

米沢市の人口は九万人台を割り、高齢者世帯が増加している今、いろんな相談に対し、丁寧なアドバイスをしたり、各関係機関へ橋渡しをしたり、数えあげればきりがない仕事で、区切りがありません。

民生委員の今年のスローガンは「広げよう 地域に根ざした思いやり」ですが、思いやりを持って他人に接する構えを、これからも教えて下さい。受章おめでとうございます。

(S五十二年卒 高橋有子記)



藍綬褒章 受章

高木 郁さん

(S三十三年卒)

主夫をしています

神原 省治 先生のメッセージ



お久しぶりです

皆様

皆さんお元気ですか。私が「九里学園 米沢女子高等学校」に新卒で西も東もわからずに入社したのは、1957（昭和32）年の4月ですから大分前のことになります。

当時を思い出すと第一印象は、生徒さんはみな大人で、よく勉強することでした。授業に行くと実際に静かで全員きちんと姿勢を正して待っている。机上には教科書、ノート、筆箱が揃い、鉛筆は削られていると言うように授業に臨む態度は満点でした。3年生で数学の授業でした。当時の皆さんには、内容は勿論みなお忘れのことでしょうが、懐かしい思い出のひとつです。3年目からは本職の生物を担当することになりました。部活は科学班で、百葉箱を自作し毎日の気象観測をやり、記録を続けました。一方アメリカザリガニは、私にとり大変珍しかったので、その分布を調べることにしました。当時の生徒さんは、忍耐強く丹念に野外調査にいきました。また結果を市内高校の理科部会で発表したり、「松友」に載ったりしました。生徒さん達を、大学の臨海実習に参加させてもらったのも思い出です。

昔のことだけになりましたが、定年退職してからは、講師、教育研究所、事務室と2000（平成12）年3月まで43年間勤めさせていただきました。その後は、ペースメーカーを入れながらも、時折卒業生の方々からお誘いを受け、飲食会で人生哲学の教えを受けています（老いては…です）。

また、妻がよく目が見えないので毎日主夫をしています。家事をしていると、一日の過ぎるのが早いですね。家事の指導がてら遊びに来てください。

皆さんの益々のご健勝をお祈りしています。

聖火に点火された時、周りが見えない程の煙の中、白バイ六台を先頭に、我校と五中の皆さん計二十三名で山交支社前を出発し、米沢駅を経由相生橋迄走りました。沿道では歓迎の日の丸の小旗を振つたり、拍手で迎えて下さつたり、声援を掛けで下さる観衆の皆さんで一杯でした。相生橋上では、聖火が重くなつたので少しほおうかと思いましたが、前方にカメラマンが見えたので、最後迄姿勢を保つて走り、完走後全員笑顔で写真を撮つて戴いた事を思い出します。後日戴いた記念のメダルには「諸君は聖火リレー走者としての感激がいつまでも生かされ、立派な日本人として成長される様祈つて」と愛知揆一文部大臣と添書きされていました。クラブ活動や生徒会で頑張つた事が、リレー走者に繋がつたのだと私の心の中の誇りになっています。



私の高校時代 栄誉ある聖火を運ぶ

昭和三十九年九月三十日。

聖火正走者に選ばれた私は、早朝から雨の中で走る速さを調整しながら、繰り返し練習しました。我校からは体育部長と陸上競技部主将の私、その他二十四名が選出されました。幸い雨は止み、成島町十字路に、私と副主将がトーチを、他は五輪旗を持って二列に並び前走者が来るのを緊張で胸を躍らせながら待ちました。よいよ興譲館の須貝さんが到着し、聖火の点火。私はトーチを高々と上げ大きな声で「責任を持ってリレー致します。」と言つて出発しました。

集合場所や沿道では多数の人々が笑顔や拍手で迎えてくれました。松ヶ根橋まで六分で走り、東高の斎藤さんへ点火。大役を果たせ安堵したこと思い出しま



小林 芳子さん（旧姓 佐藤 S40年卒）



職

場

訪

問

8/31

—九里祭参加—

同窓生作品展



本年度は在校生の美術部・書道部と同じ小体育館を展示会場とし、作品展示を行いました。絵画・書・生花・彫刻・帯・工芸品・キルトやパッチワーク・毎年恒例の飯豊支部の皆様の手芸品などなど力作揃い。数々の作品は来場者の方々の目を楽しませてくれました。今年の学園祭には皆様も是非足をお運び下さい。卒業生の皆様で、何か作品をお持ちの方、この作品展へぜひ出品してみませんか?

創業当時から障害者と共にという方針で、現在社員一四〇人のうち三十四%が障害者だそうですが雇つてあげているという考えは一切ないそうです。会社全体が家族で宝物という思いをずっと抱いておられ、社員の無遅刻無欠勤等のひたむきさにむしろ支えられ励まされることが度々あるそうです。

御主人を亡くされてから「笑顔・挨拶・感謝そして油断なく」という遺志を継がれて会社を運営されています。社員が九里学園に赴く時は必ずとみ先生の胸像に頭をさげるようになると伝えているということです。

高校時代の校長先生はとみ先生で、制服はスカートの裾に白線を自分で付けるものでした。応接室が掃除当番の時は茶棚からお菓子を失敬したことがあつたりしてなかなか充実した高校生活だったそうです。

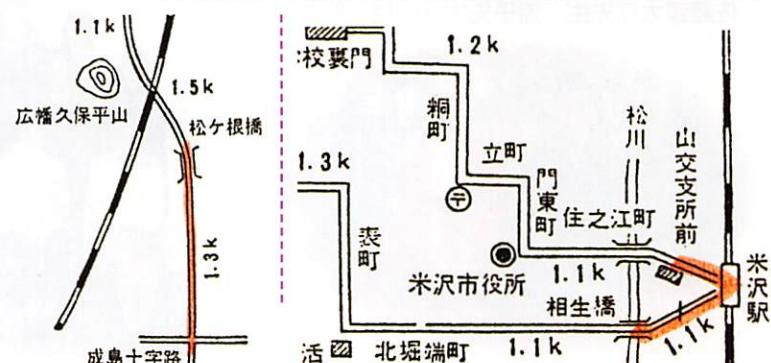
同窓生皆さんの子供さんや孫さんの体操着は、クラロンではありませんか?

(S六十一年卒 池田 尚美 記)

主人の遺志を継いで障害者雇用

クラロン社長

田中須美子さん (S16年本科卒)



当時の地方紙から

聖火は、9月26日に秋田県から山形県に入り13号線を南下、29日に小雨が降る中、米沢に到着し市民の大歓迎を受けた。明けて30日、前日がうその晴天の下、正走者を先頭に副走者2名と中学生を含む随走者二十余名が2列になり1区間6、7分のペースで走り抜けた。リレーはそのまま西に向かい新潟県へと繋がれて行った。

新聞を見ると、市内に入ってすぐの区間の随走者に九里廣志校長先生の名前を見つける事ができる。そして、正走者の紹介には身長、体重や旧町名での住所が記載されているのを見てビックリ。時の流れを感じずにはいられない。その後トーチはそれぞれの学校に送られ歴史の証人として見守ってくれている。

それは十二月の朝日新聞です。凛とした婦人の写真とともに九里学園卒という文字が目に飛び込んできました。御主人と一緒に体育着製造のクラロンを創業され、現在東北を中心に一、二〇〇校に製品を提供されている会社の社長の田中さんの紹介でした。この方に会いたいということで福島の会社を訪ねてお話を伺つてきました。

ありがとうございました

ご退職になられた先生方



福崎 正史先生



ダウニング文先生
(旧姓 定免)



園田 直子先生
(旧姓 高橋)

結婚おめでとうございます

平成25年8月

佐藤源太郎先生 涼子先生 (旧姓 鈴木)



編集後記

オリンピックはいつの時代も心を高揚させてくれるもの。女子スキー・ジャンプを盛んにし、オリビック競技へと押し上げた先輩の小浅里子さん。二度目の東京オリンピックに照準を合わせ、活躍している現役学生や同窓生にも心からエールを送りたいです。

(新井)

(1)メールあて先
dousou@tw.kunori-hed.jp
(2)封書、はがき (表紙の住所をご覧ください)

ALL
くのり
ねっと



アドレス <http://all-kunori.net/>

投稿はメール、封書、はがきでお送り

下さい。

下さい。

ください。

30年ぶり 2クラス合同 クラス会

昭和五十五年卒業、家庭コース一組、二組合同のクラス会を、昨年十月に行いました。当時の家庭コースは、一クラスの中で、被服コース、食物コースと分かれており、家庭科の時間になると半分に分かれての授業でした。そんな事もあり、いつか合同でクラス会をやつてみたいと思っていた時に、二組の方と子供の学校で再会し、「クラス会一緒にしない?」と声をかけたのがきっかけでした。その話も途中途絶えてしまい、四年ごしでの実行となりました。卒業して早三十年もの月日がたっており、連絡先が不明で何年か前の住所録を頼りに案内書を出しました。半分以上宛名不明で戻ってきましたが、ひとつづてに何とか連絡でき実行となりました。

当日、一组担任酒井脩一先生、二組担任斎藤佳子先生にも出席頂きました。希望者で、学校正門に集合して、当時を思い出しながら校舎見学をした後、会場では、記念撮影、自己紹介、近況報告をして、あとは自由に歓談の時間にし、あつという間に時間となり、またの再会を約束し会場を後にしました。

クラス別々の二次会は、短い時間でしたが、楽しくつて娘時代に戻ることができました。今回参加された方、一緒に幹事をしてくださった方、ありがとうございました。

(星野美津子 記)



★ 同窓生の集い(総会)は、六月二十八日㈯です。その運営当番は卒業年が六と七のつく学年(昭和二十六、二十七、三十六、三十七、四十六、四十七、五十六、五十七、平成六、七、十六、十七、二十六)です。詳しくは別紙を参照の上、お申込みいただきますようご案内いたします。また、左記アドレスからもお申込みいただけますのでご利用ください。

★ クラス会をされた方は事務局までご一報ください。

★ 九里祭で同窓生の作品を募集しています。

